

視覚イメージとことばの 相互作用を促す美術学習方略の研究会

日時

2016年2月6日（土） 13:00～

場所

芸術学系棟2階大会議室(B203)

講演

参加自由

※ 講演は英語で行われますが、適宜、通訳が入ります。

◎ 13:00～

趙 惠玲 教授 (国立台湾師範大学 美術学系)

「視覚文化イメージに対する青少年の解釈とその形成」



[講師紹介] Dr. Chao Huei-Ling

米国ペンシルバニア州立大学大学院博士課程修了(Ph.D.)。

専門は、芸術教育論、視覚文化教育論、ジェンダー論。

台湾教育部教育課程編集委員、教科書審査委員、学術誌『藝術教育研究』主幹編集委員。

◎ 15:00～

高 震峰 教授 (台北市立大学 視覚芸術学系)

「青少年のデジタル文化リテラシーと美意識の関係」



[講師紹介] Dr. Kao Cheng-Feng

米国ペンシルバニア州立大学大学院博士課程修了(Ph.D.)。

専門は、芸術教育理論、デジタルアート。

故宮博物院デジタル学習部門顧問、元InSEA評議員、学術誌『藝術教育研究』編集委員。

☆ 問い合わせ先 ☆

研究代表者 芸術系 石崎 和宏

連絡先:ishizaki@geijutsu.tsukuba.ac.jp

科研C「視覚イメージと言語の相互作用を促す美術学習方略に関する実証的研究」